

# 我が町の協力隊

横山 春人

Q.これからやっていきたいことについて教えてください

## 大きな母屋と拠点づくり

敷地にたたずむ大きな歴史ある古民家。代々大切にされてきた歴史や物語に大事に手を入れ、人が集い、滞在してもらえるような場所にして行けたらと思います。そこで、この土地を味わってもらえるような小さな宿や食堂、カフェなども開いていけたら…と家族で少しずつ夢を描いています。

## 緑のお仕事

70%を森林に囲まれた自然豊かな森町。暮らしてみると、豊さと同時に自然と関わる大変さやいろいろな問題も感じるようになってきました。湿気やカビ、水はげに悩む住まい周り、荒れてしまう草木、竹林や山崩れる斜面など…。暮らし・地域の環境整備で、これからも豊かな自然や地域の暮らしを育んでいく緑のお仕事をしていきたいと思っています。

## 水源を守っていく

中山間地域の貴重な資源であり、生活のライフラインである命の水。僕の暮らす三倉・中村地域の水源も台風15号で大きな被害を受けました。山を守ることが、水を守り、暮らしを守っていくことだと改めて教えられます。大変なことですが、豊かな暮らしをこれからも守っていくために、倒れた木を切ったり、道を作ったり、地域の方とできることから取り組んでいきたいと思っています。

## 空き家・移住のこと

中山間地では、少しずつ人が減り、地域の担い手が減ってきています。空いてしまったお家は、あっという間に傷んでしまいます。

有り難いことに、森町に住みたいという方の相談が多く、地域・空き家へつなく移住のお手伝いをさせてもらっています。持ち主さん・地域の方

にとって、新しい方を受け入れるのは簡単なことではない、というのは肌で感じます。それとともに地域に新しい人が入ってくれる事の大きさも感じています。いろいろな方にとって良い形で、地域の担い手が増えていくなお手伝いをしていけたらと思います。



## 地域の方と賑わい作り

地域の方が力を合わせて作るいろいろなにぎわい、お祭りがあります。旧三倉小学校、地域の方たちで春に上げる鯉のぼり。春と秋、ぶぶふの日で開かれる小さな手作り市「中村横丁」。今年復活した子ども会では、アマゴの掴み取りやお餅つき。屋台の引き回し、舞子返しと代々続けられてきた三倉の祭り。教わりながら、これからも大切にしたい地域のにぎわいです。旧三倉小学校でも夏の盆踊りや、「中村横丁」の開催などゆくゆく新しいにぎわい作りにも地域の方と取り組んでみたいと思っています。

次号から松葉隊員特集です！

森町地域おこし協力隊新聞

令和4年(2022年)

12月

第6号

メンバー紹介

地域おこし協力隊

佐野 祥

横山 春人

松葉 知香(パチカ)

移住コーディネーター

岩瀬 進哉

森町役場

定住推進課

## 11月の活動報告

### 佐野

- 友田家関連  
脱穀、草刈り、干し柿WS
- ゲストハウス関連  
外壁完成、床貼り
- 手仕事関連  
干し柿作り、葛布展覧会見学
- イベント関連  
こどものための山ノ上ノ音楽会、写真展「世界の暮らしを巡る旅」(ぶぶふの日参加@自得院)、小学生森林講座

### 横山

- 移住定住  
移住希望者地域案内
- 空き家の調査  
城下地区
- 地域  
水源調査、県道落ち葉土砂掃除、小学生森林講座@旧三倉小
- イベント  
ぶぶふの日「中村横丁」、クリティカルマスのEbikeツアー

### 松葉

- 商品開発関連  
ビール配達、とうもろこし加工品開発(試食説明会準備など)
- 広報関連  
協力隊新聞編集作業
- 関係人口創出  
静岡文化芸術大学4年生卒制×地域とのマッチングサポート
- イベント  
種茂家無料休憩所スタッフ、森町産業祭出店

### 岩瀬

- 移住定住相談  
移住相談、店舗相談
- 空き家の調査  
草ヶ谷、城下地区
- 空き家活用推進  
旧レコード店改修、遠江総合高校、森中学校授業
- 関係人口創出  
とうもろこし商品開発、森町産業祭出店、クリティカルマスのE-bike ツアー



# 西向きジャーナル

## 山暮らし小さな手仕事レシピ

柿が色づく季節。集落の軒下には、次々と渋柿が吊るされ始める。今まで干し柿を食べたことはあったが、特別な興味を持ったことはなかった。

森町に来た最初の年、集落の先輩に教えてもらい、初めて自分で作ってみた。イランで食べた棗椰子のような、でも果物らしい爽やかな後味。手を動かしながら友人たちと集う時間。改良を重ねるその楽しみに魅了されてしまった。

我が家では、完成前のトロ〜ツとした具合が人気で、出来る前に吊るした柿がどんどん消えていく。

干し柿

【材料】

- ・渋柿：自分で出来る分
- ・吊るす紐：60〜70センチ※棕櫚の葉を裂くと尚良い。
- ・ホワイトリカー

【作り方】

- ①渋柿のヘタは紐で吊るせるように、枝をT字型のまま残す。
- ②ヘタの周りの皮を5ミリほど残し、ナイフとピーラーで残りの皮を剥く。
- ③柿2つで1組とし、柿のヘタのT字部分に紐の両端を結びつける。
- ④湯呑みに入れたホワイトリカーに30秒間漬ける。
- ⑤陽当たりと風通しの良い場所に、柿同士がくっつかないように、ずらして掛ける。
- ⑥二週間後に、優しく揉み、④の工程を繰り返して、再び干す。
- ⑦約1か月後に出来上がり

佐野祥（サノシヨウ）・森町地域おこし協力隊

沖縄で伝統織物の織り子、2年間の海外新婚旅行を経て、森町で循環型の里山暮らしを実践。主に、里山の保全、イベント企画運営を行っている。



## 移住コーディネーター通信

移住コーディネーター  
いわせしんや  
岩瀬進哉

商工会や地域の皆さんとの「森の町並み再生プロジェクト」。本町の歴史的町家である種茂家を「実験店舗TANEMO」として、毎月イベントを開催しています。9月の栗蒸し羊羹の食べ比べに続き、10月23日には（一社）モリマチリノベーション主催で、一日限りのフレンチレストランをオープンしました。森町に移住されたシェフとピアニストご夫妻の料理と演奏は大変好評でした。

## 地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上、3年未満です。

連絡窓口のご案内

森町役場（定住推進課）

0538-85-6321



二日にちは、はちかぐす  
もりもり2万人まつり&農協祭に  
いらっしやいませ

森町でつながる推進部会の  
皆さんと一緒に参加してきました

商品ラインナップ

こんやく部会の  
和玉こんやく

鍛冶島の棚田で  
とれた餅米

鍛冶島産の  
ぼろたん(栗)

栗を提供

もちろん梨ビールも  
連れていきました

ちょっとブリスを離れている間に  
あれ？  
もう餅米ないの？

すごいスピードで  
商品が購入されていきます

終了の午後2時には  
持ち込んだ全ての商品が  
完売

お天気の悪い中、足を運んで  
くださったみなさま方、  
ありがとうございます！